

保護者向け 放課後等デイサービス評価表

公表日：2023年3月30日

事業所名：放課後等デイサービス事業所りんくるー

対象人数（保護者）24人 回答者数18人 回収率75%

	チェック項目	回答				ご意見
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15	3			
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	17	1			専門性はすばらしいです。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	9	4		5	
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されているか	15	2	1		
	5 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	15	1		2	
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6	4	1	7	家によく遊びに来てくれるお友達があります。
保護者への説明等	7 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	16	2			
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	14	3	1		常に子供と保護者に寄り添っていただいています。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	11	2	3		2 保護者にとって勉強になることがたくさんあります。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	3	3		8 自分が必要としている方とは連携できています。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11		1	6	
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	16		1	1	1 毎回、画像などで様子を聞かせてもらっています。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	14			4	
	14 個人情報の取り扱いに十分注意されているか	15			3	
非常時等の対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	9	3	1	5	
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10	1		7	
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	16	1	1		毎回行くのを楽しみにしています。
	18 事業所の支援に満足しているか	16	1	1		

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

公表日：2023年3月30日

事業所名：放課後等デイサービス事業所りんくー

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	1		自由度が高い、個人や個性を尊重している。 人数が多いときは前半後半に分かれ公園に連れていっている。	自由だけではなく、自分で自分のコントロールや自分の言動を制御したり責任がとれるようになる。
	2 職員の配置数は適切である	5	1	1	人手が少ない時はボランティアをお願いしている。	提携を結んでいる放課後等デイサービスもあるため、そこに人手が少ないときは手伝わってもらう必要がある。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	4	1	あえてバリアフリーにしないことで、注意力をつけることに繋げている。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4	2	1	職員がとても働きやすい	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	1	1	日々日頃から保護者の方とはLINEで繋がっているため、何かあればすぐに対処できている。	事業開始から一年目なので、今後、アンケートを改善の参考にしたい。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	1	1		事業開始から一年目なので、アンケート結果の公開はこれから行う。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	2	1		
適切な支援の提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	1		それぞれの職員が行きたい研修があれば、参加させている。	
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	2			
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	3			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1	1	子どもたちに活動を考えてもらっているため、子どもの個性を引き出す事ができている。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	1	1	事業所にあるものは基本的に何を使ってもよく、一人一人好きなように過ごすことができている。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	2	1	夏休みは子どもに行き先を決めてもらって一人一人好きなところに連れていっている。	短い期間の休みだと数名の職員に任せてしまっているため、そうではなくチームで話し合い決めていく必要がある。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	1			
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	1		13時から今日の予定と明日の予定を職員全員集まり確認している。	長期休みの前や長期休み中はできていないため、何かあればすぐに伝えるような対策が必要と思われる。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	2	1	問題があったときや気づいたときに行っている。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	1			
関係機関や保護者との連携	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7				
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	5	2			
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	1			
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	6	1			
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3		4		
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	1	2		
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	2	1		事業開始から一年目なので、まだそういったケースがなく、今後の指針としたい。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	1	1		
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	6		1	1	学校の友達誰もが気軽に遊びに来れる場所になっている。
	27 （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	3	1	3		
保護者への説明責任等	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	1			
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	1	2	2	家庭では、もっとこう関わってもらいたいなど、言うことがあれば伝えている。
	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7				
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	1			
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4		3		まだ出来ていないため、父親、母親の会を開きたいとは思っている。 事業開始から一年目なので、今後の指針としたい。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7				
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7				

説明者等への	35	個人情報に十分注意している	7				まだ改善余地があるので、なおいっそう体制を整えたい。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			言葉が分からない子供にはカードで伝えてる内容を教えている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	7			地域の人に土曜日に来てもらい先生として招き、様々な活動をしている。	何をやりたいか子どもの声も聞き入れるようにしていきたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	1	1		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7				
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	1	1		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	1			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6		1		現在のところ、思い食物アレルギーの利用者（児）がいない。今後、そういったケースがあった場合の指針としたい。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7				